

Q & A

YUNOCAに登録できる学術研究成果にはどんなものがありますか？

学術雑誌論文、紀要論文、学位論文、テクニカルレポート、学会予稿集などです。図書館では特に本学教員の最新の研究成果を網羅的に収集することを目指しています。**執筆された論文の雑誌掲載が決まったらすぐYUNOCAへ著者最終原稿をお送りください。**

著作権について問題はないの？

論文の著作権が誰にあるのかで手続きが変わります。
著者本人にある場合・・・著者の許諾により公開できます。共著者がいる場合は図書館へ原稿を送る前に共著者の許諾をお取り下さい。
著作権が出版社に譲渡されている場合・・・出版社への許諾確認は図書館で行います。

YUNOCA では出版社の公開許諾の得られた論文のフルテキストを公開しています。

出版社の許諾が得られなかった論文はYUNOCAで公開できないの？

本文の公開はできませんが、書誌情報はYUNOCAで公開します。書誌情報のみでも、論文に関する情報や関連情報へのリンクなどがありますので、研究成果の効果的な発信につながります。

博士論文を公開しないといけないの？

平成25年3月の学位規則改正により、平成25年4月1日から学位授与された博士論文はインターネットにより公表することが義務づけられました。
「論文の内容の要旨」・「論文の審査結果の要旨」・・・学位授与後3ヶ月以内
「論文の全文」・・・学位授与後1年以内

※但し、「やむを得ない事由」により公開できない場合は、「博士論文の全文」に代えて「全文の要約」を公表することができます。



山口大学総合図書館

〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1

お問い合わせ先

学術基盤部学術基盤推進課企画連携係

TEL: 083-933-5187

FAX: 083-933-5171

E-mail: yunoca@yamaguchi-u.ac.jp

2020.4

2024.06- 改訂作業中

あなたの研究成果を世界へ

YUNOCA

山口大学学術機関リポジトリ
Yamaguchi University Navigator for Open access Collection and Archives

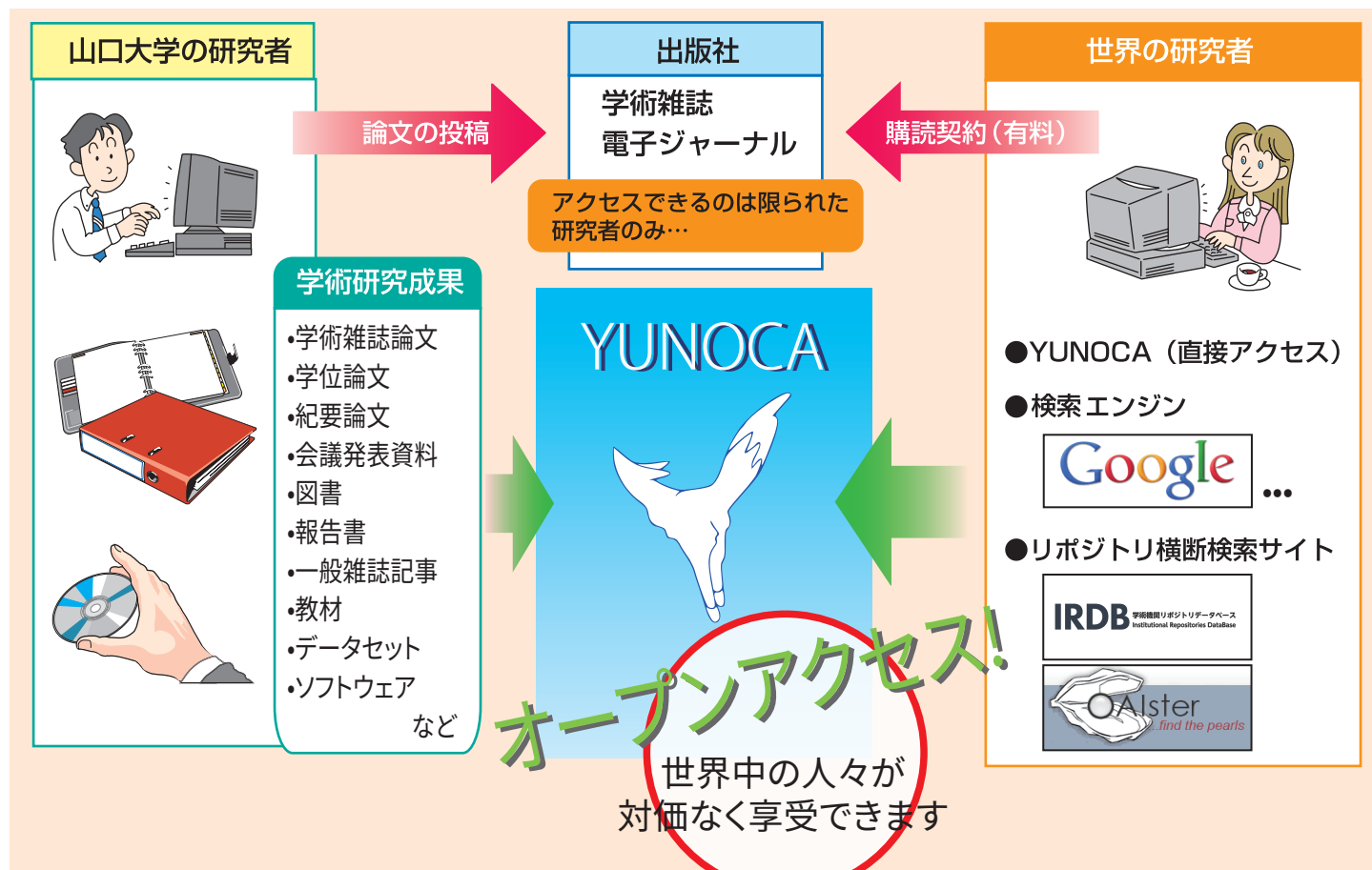
<http://petit.lib.yamaguchi-u.ac.jp>



山口大学学術機関リポジトリ(YUNOCA)とは?

山口大学学術機関リポジトリ(YUNOCA [ゆのか]: Yamaguchi University Navigator for Open access Collection and Archives)とは、山口大学の研究者等による論文、学会発表資料、教材などの学術研究成果を収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて無償で学内外へ公開するための情報発信ポータルです。

山口大学において生産された学術情報資源を電子的に学内外へ提供することにより、地域の知の拠点として、学術研究の振興及び社会貢献に寄与することを目指しています。



YUNOCA にはこんなメリットがあります

研究成果の可視性が向上!

YUNOCAに登録された学術研究成果はGoogleなどの検索エンジンやリポジトリを横断検索できるサイトからも検索できるようになります。可視性が高まることにより論文の被引用率のアップなどの効果が期待できます。

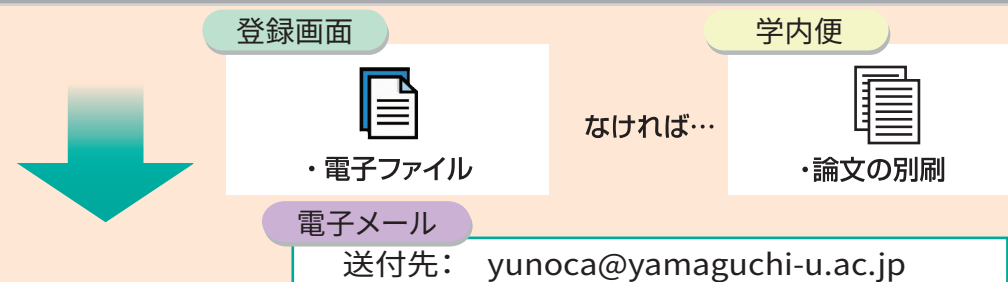
研究成果の長期保存・利用の保証!

散逸しがちな学術研究成果も、YUNOCAに登録することで長期的な保存と無料アクセスが保証されます。研究者の方にとっては、各自で管理・発信・保存するコストを削減することができます。

大学のブランド力の強化!

山口大学の学術研究成果を一元的に収集・発信することにより、学術コミュニティにおける山口大学のブランド力が高まります。また地域の企業等に産学連携・地域連携のための情報提供をすることもできます。

教員 登録画面からの登録、学内便や電子メールでの送付



図書館 データ補完および著作権状況の確認

- 書誌事項の作成

タイトル	著者名
掲載誌情報	抄録、著者キーワード

 電子ジャーナルへのリンクなど、論文の関連情報
- 著作権状況の確認

❗ 著者最終原稿の送付をお願いすることがあります

YUNOCA 世界へ発信!



“著者最終原稿”とは

査読が終了し、かつ出版社のレイアウトが入る前の最終段階の原稿のことです。
(著者最終原稿であれば、出版社に著作権を譲渡した場合でも、公開できる可能性が高くなります)

